

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 22日

事業所名 oliveやまうち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3名	2名	活動支援によってスペースを分けて行っています。	利用定員の管理を継続していきます。
	2	職員の配置数は適切である	4名	1名	児童指導員・保育士を常に2名以上配置しています。	適切配置人数を守り、職員へ周知徹底していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		5名	段差の認識力・身体能力を持っているため現状維持。	必要に応じて児童への補助を職員が行うようにします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3名	2名	清掃、アルコール消毒など清潔に心がけている。	職員だけでなく、おやつ時間に児童にも当番制でテーブル拭きなど意識づけをしています。今後も継続していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3名	2名	毎朝ミーティングを行っています。	ミーティングや職員間で共有理解に努めていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5名		ミーティングで共有し、話し合っている。	継続して行っています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4名	1名	ホームページで公開しています。	ホームページに公表していることを職員へ周知していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3名	2名		現在は保護者の評価と事業所内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5名		事業所内・外での研修がある。	今後も外部の研修などを取り入れ、継続していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5名		毎朝のミーティング等で情報共有し、職員の意見も取り入れている。	現在対象児童はいませんが、職員間で話し合い計画した計画に沿った支援計画を作成していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3名	2名	アセスメントシートがあるのは知っている。	事業所内の書式の見方、内容等の共有に努めていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5名			契約時に丁寧に説明し、保護者に聞き取りを行いながらサービス計画に記載しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4名	1名		現在対象児童はいませんが、職員間で話し合い計画した計画に沿った支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5名		職員同士相談しながら考えている。	今後も継続していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5名		土・祝日等、活動内容が被らないようにしている。	今後も継続していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4名	1名		利用児同の状況や発達段階に合わせて、作成していきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4名	1名	毎朝ミーティングを行っています。	ミーティング後、参加できなかった職員に対して共有していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3名	2名	グループラインなどを使い気づいた点など共有している。	翌日朝礼時に、気づいた事等の共有・確認をしていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4名	1名	活動記録表を使い入力している。	活動記録から、支援の検証・改善につなげ、全職員の共有していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5名			今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5名		児発管が行っている。事前に職員で該当児童状況等話し合いを行っている。	今後も継続していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4名	1名		子育て支援センターなどを活用し、関係機関との関わりを広げていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1名	4名	該当児童がいない。	重症心身障害児以外を受け入れる事業所として登録しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5名	該当児童なし。	重症心身障害児以外を受け入れる事業所として登録しています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2名	3名	該当児童なし。	職員へ情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3名	2名	該当児童なし。	現在、対象児童がいませんが今後、対象児童がいる際には、情報共有・相違理解を図っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2名	3名		積極的に外部研修等を実施していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5名		交流できる機会を計画していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5名		今後は積極的に参加できるように努めていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5名		送迎時やLINE、電話、連絡帳等を使い実行している。	継続していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3名	2名	研修案内・相談に乗りアドバイスをしています。	ペアトレに関わらず保護者との相談体制を整えていきます。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5名		契約時に説明しています。	継続していきます。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5名			継続していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5名		職員間で共有し、考え、支援を行っている。	継続していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5名		年に1回、保護者や児童が楽しめるようにイベントを行っています。	継続していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5名		すぐに職員間で共有し、考え、対応している。	継続していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4名	1名	毎月の活動カレンダーを保護者へ配布しています。	継続していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5名		注意している。	今後も注意し、継続していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4名	1名	相手の状況によって配慮している。	LINEを活用し配慮しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5名		検討し、計画していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5名		訓練を行い、ミーティングで改善すべき点を確認しています。	今後もマニュアル等を職員・保護者で共有し、再確認していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5名		定期的に避難訓練を子供達も一緒に行っている。	今後も定期実地に努めます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4名	1名	アセスメントシートやミーティング等で共有している。	今後も情報共有を継続していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3名	2名	対象児童がいない。	・対象児なしだが、受け入れの際は医師の指示書に基づき対応していきます。 ・職員への情報共有も徹底していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4名	1名	研修で学んだ事を共有していく機会を設定している。	大きなけがにつながらないように努めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5名		年に一回以上事業所内での研修や、外部からの研修、研修資料を使い定期的に行っています。	今後も工夫し継続していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5名		契約時に丁寧に説明し、保護者に聞き取りを行いながらサービス計画に記載しています。	今後も継続していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。